



AIR断震 倶楽部通信 33

世界初！空気力で家を浮かす！
揺れない家が家族を守る



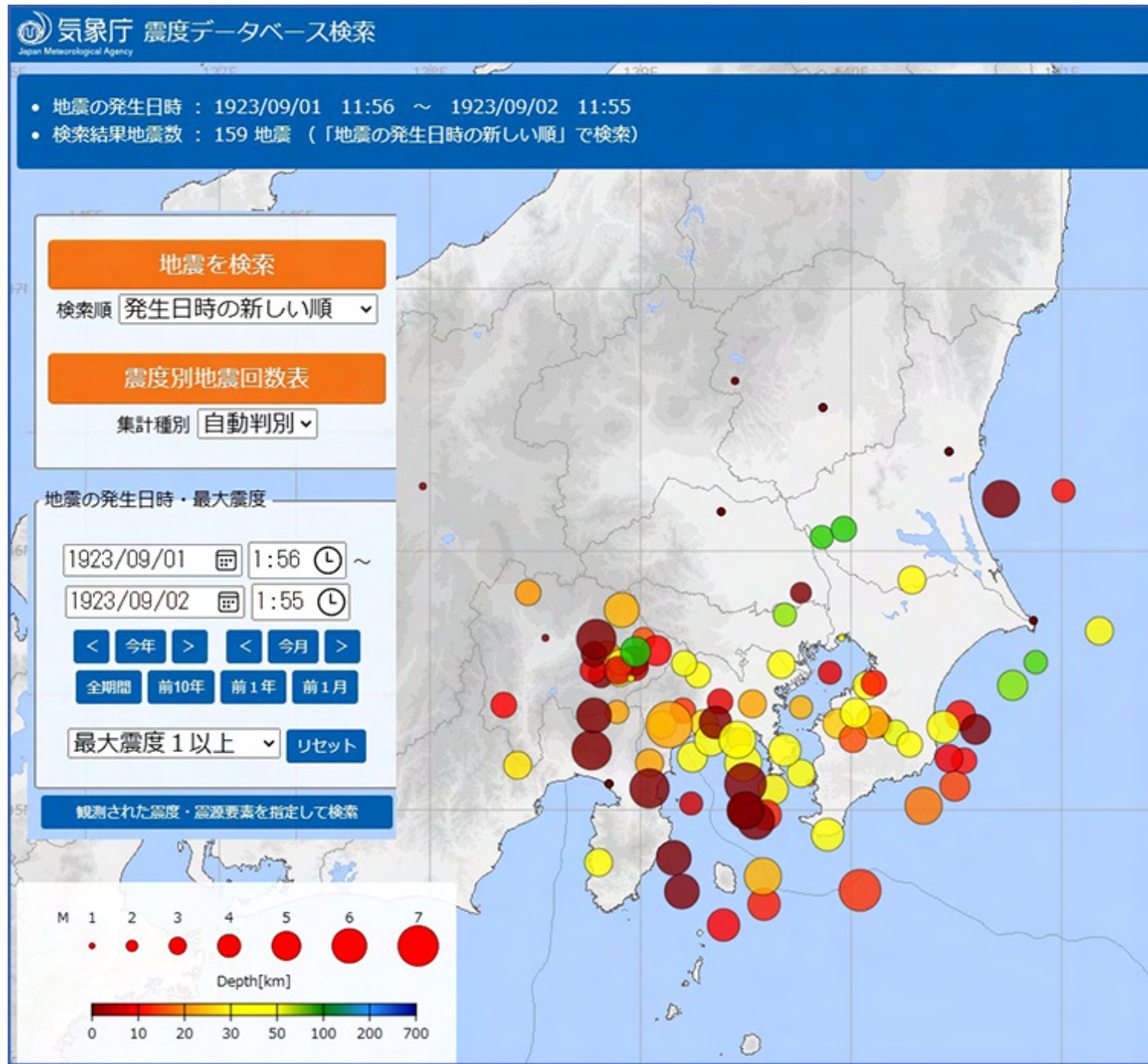
「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。

※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

神奈川県地震被害と震災からの復興 関東大震災の建物倒壊による被害は、 東京より神奈川の方が遥かに大きかった。



図は、関東大震災が発生した1923年9月1日の午前11時56分から丸1日間に起きた、159回の地震の震源と地震規模を示したものです。震源地は東京より神奈川県の方が圧倒的に多く、建物倒壊による住宅全潰・半潰（現在では「全壊・半壊」と表記するが、関東大震災発生当時は、木造住宅が多く、潰れるように壊れるので「潰」の字を使用していた）による被害は神奈川県の方が大きかったのです。詳しくはホームページでまとめますが、神奈川県住宅の全潰は6万3577棟（東京は2万4469棟）、住宅全潰による死者・行方不明者は5795人（東京は3546人）でした。関東大震災では、東京の火災による被害で6万6521人も死者を出したことで、「東京の地震」という印象が強いのですが、実は「神奈川県が大きく揺れた地震」だったのです。

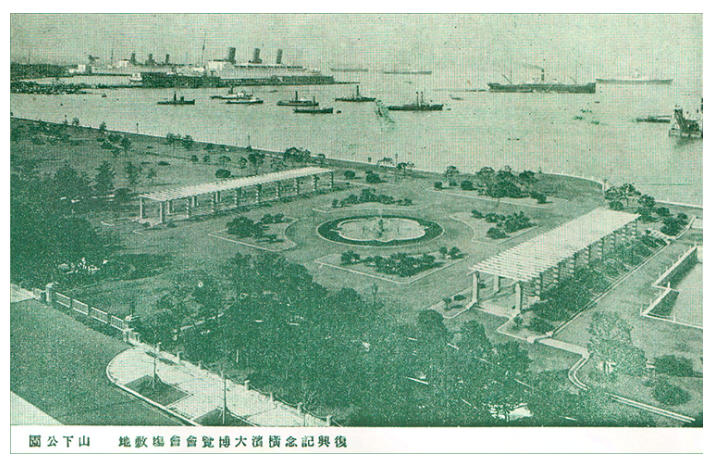


関東大震災発生から丸1日に起こった余震（気象庁地震データベースをもとにデザイン変更）

詳しくはHPで

詳しくはHPへ▶

震災復興の象徴・山下公園は 震災の瓦礫による埋立で作られた。



昭和戦前期の山下公園（横浜中央図書館所蔵）と現在

神奈川県の本格的な復興計画のスタートは、1924（大正13）年から5カ年計画の国道・県道の整備でした。国道1号線（保土ヶ谷～小田原町区間）、国道31号線や、県道横須賀三崎線を始めとする25路線、総距離約50kmを国庫補助550万円、県費154万円での工事が開始されました。その他の復興事業は、震災の被害を受けた橋梁など178の架橋、31校の小学校建設、上下水道整備などですが、震災復興の象徴ともいえるのが、震災で倒壊した建物の瓦礫で埋め立て、1925（大正14）年から4年かけて作られた山下公園などの公園事業です。山下公園は震災の記憶を留めるだけでなく、力強く再生し更なる発展を実現させた復興の象徴ともいえるのです。

詳しくはHPで

詳しくはHPへ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！ 「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。
エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。
震度7の揺れを約1/30に軽減することができます。

「エアー断震システム」について
詳しく知りたい方はこちら▶

詳しくはコチラ▶

「AIR断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから▶

詳しくはコチラ▶

「エアー断震システム」の詳しい
資料請求はこちらまで▶

詳しくはコチラ▶

「エアー断震システム」の効果
体感してみませんか。
関東に4カ所体験できる展示場があります。

詳しくはコチラ▶

大臣認定取得

2019年4月3日国土交通大臣認定を
取得しました。

詳しくはコチラ▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》

株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL：03-3551-0272 FAX：03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら